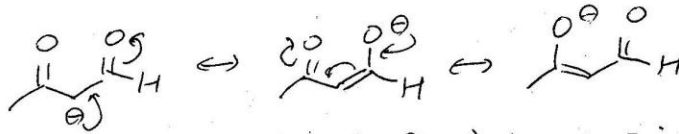
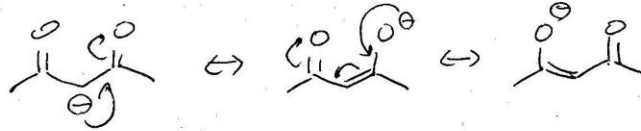
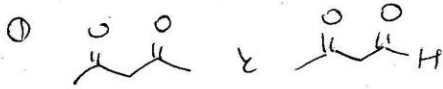
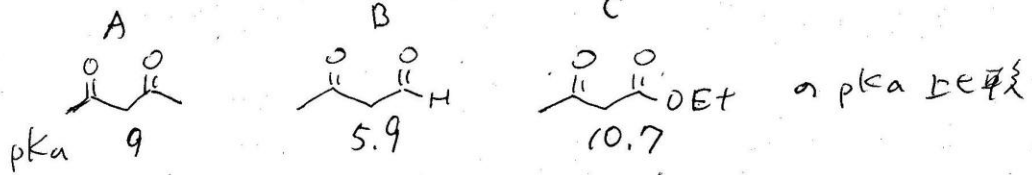


10/26 Quizの肉題3について



の pKa に揃っているから、R効果の寄与はどちらも同じ。

たゞとすると I 効果で決まる。2つの化合物の違いは

右端が CH3 か H かということ。 CH3 は電子供与性の弱い I 効果。Tj の $\ominus$ 負電荷をわずかに不安定化。つまり pKa $\uparrow$ 。

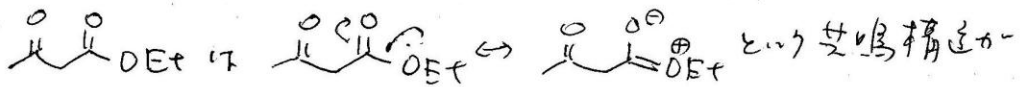
圧制的に右から正誤答



これが抜ける
とすると



この π - π は O に電子を
引きつける I 効果ははたして
たゞうか。R効果はたない。
一般に R効果の寄与は I 効果
よりも絶対大なので、この π - π は
てきとう。



あって (解離する前か) 安定化されている $\leftrightarrow$ 解離しづらい

解離後は [O-]C(=O)C=C(C)OCC となっていて、OEt から
電子が引く出す寄与構造には相当ムリがある、ということ。
ただし [O-]C(=O)C=C(C)OCC $\leftrightarrow$ [O-]C(=O)C=C(C)OCC と揃ってなくもないので。
アセトンと酢酸の pKa が 5 違うのに比べて A と C では 2 しか違わない
とも言える